

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06152917 A**(43) Date of publication of application: **31 . 05 . 94**(51) Int. Cl. **H04N 1/32**(21) Application number: **04296212**(22) Date of filing: **05 . 11 . 92**(71) Applicant: **NIPPON TELEGR & TELEPH  
CORP <NTT>**(72) Inventor: **HAYAMIZU HARUO**(54) **FACSIMILE EQUIPMENT WITH MULTI-ADDRESS  
COMMUNICATION FUNCTION**

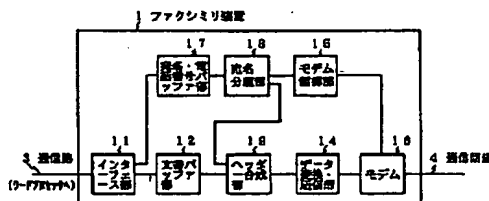
the MODEM 16 to pertinent destinations.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&amp;Japio

(57) Abstract:

**PURPOSE:** To easily identify a receiving individual at a reception side by transmitting a document for which an individual address is synthesized for each transmission destination at the time of multi-address communication.

**CONSTITUTION:** A document buffer 12 stores document data and an address/ telephone number buffer part 17 stores the address/telephone number list of the respective transmission destinations. An address separation part 18 receives address data and telephone numbers by every entry from the buffer part 17, separates them, sends the telephone numbers to a MODEM control part 15 and sends the address data to a header synthesis part 19. The MODEM control part 15 controls a MODEM 16 so as to be connected to the facsimile of the pertinent telephone number and the header synthesis part 19 receives the document data from the buffer part 12 and inserts the address data to a prescribed position. A data conversion/transmission part 14 makes the images of the document data to which the address data are inserted and transmits them through



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-152917

(43)公開日 平成6年(1994)5月31日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

H 0 4 N · 1/32

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

H 2109-5C

F 2109-5C

審査請求 未請求 請求項の数1(全 7 頁)

(21)出願番号

特願平4-296212

(22)出願日

平成4年(1992)11月5日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72)発明者 速水 治夫

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

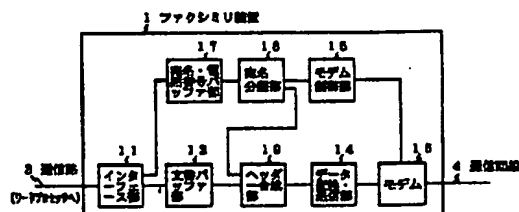
(74)代理人 弁理士 鈴木 誠

(54)【発明の名称】 同報通信機能付きファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 同報通信の際、各送信先毎に個別の宛名を合成した文書を送信して、受信側で受取人個人の同定を容易にする。

【目的】 文書バッファ12は文書データを格納し、宛名・電話番号バッファ部17は各送信先の宛名・電話番号リストを格納している。宛名分離部18は、バッファ部17から宛名データと電話番号を1エントリずつ受領して両者を分離し、電話番号はモデム制御部15へ、宛名データはヘッダー合成部19へ送る。モデム制御部15は、該当電話番号のファクシミリに接続するようにモデム16を制御する。ヘッダー合成部19は、バッファ部12から文書データを受領し、その所定位置に宛名データを挿入する。データ変換・送信部14は、宛名データの挿入された文書データをイメージ化し、モデム16経由で該当宛先へ送信する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ワードプロセッサ等により作成されたテキストデータを複数の宛先に送信する同報通信機能付きファクシミリ装置において、  
テキストデータを格納する手段と、  
送信先リストを宛名データと送信先電話番号の対構成で格納する手段と、  
前記送信先リストの各宛名データと送信先電話番号の対について、順次、宛名データと送信先電話番号とを分離する手段と、  
前記分離された宛名データを、前記テキストデータの所定位置に順次差し替えて挿入する手段と、  
前記宛名データの挿入されたテキストデータをファクシミリデータに変換し、前記分離された送信先電話番号宛に順次送信する手段と、を有することを特徴とする同報通信機能付きファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ワードプロセッサ等で作成されたテキストデータをファクシミリデータに変換して複数の宛先に送信（同報通信）する同報通信機能付きファクシミリ装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】図6はファクシミリ装置とワードプロセッサのシステム構成例を示したものである。1はファクシミリ装置、2はファクシミリデータの元となるテキストデータを作成するワードプロセッサ、3はワードプロセッサとファクシミリ装置を結ぶ通信路、4はファクシミリデータを送信する回線である。ここで、2は専用のワードプロセッサに限らず、パーソルコンピュータ等のソフトウェアを用いて構成されるワードプロセッサであってもよい。また、3は交換回線やLANであってもよい。

【0003】同一の文書を複数の宛先に送信（同報通信）する場合、利用者はワードプロセッサ2でテキストデータ及び送信先電話番号リストを作成して、ファクシミリ装置1へ送る。ファクシミリ装置1は、テキストデータをファクシミリデータにイメージ化し、別途与えられた送信先電話番号リストの複数の相手ファクシミリ装置へ、順次、通信回線4を介して送信する。

【0004】図7に、この種の同報通信機能を備えた従来のファクシミリ装置のブロック図を示す。ここで、11はワードプロセッサとのインタフェース部、12はワードプロセッサで作成されたテキストデータを一時格納する文書バッファ部、13はワードプロセッサ11で作成されたファクシミリ送信先電話番号リストを一時格納する電話番号バッファ部、14は前記テキストデータをイメージ化してファクシミリデータに変換して送信するデータ変換・送信部、15は電話番号バッファ部13から1エントリづつ電話番号を受領して該電話番号の相手

ファクシミリ装置に接続するようにモデム16を制御するモデム制御部、16はモデムである。

【0005】インタフェース部11は、ワードプロセッサ2から転送されるファクシミリ送信文書となるテキストデータを文書バッファ部12に格納し、同じくワードプロセッサ2から転送されるファクシミリ送信先の電話番号リストを電話番号バッファ13に格納する。図8は電話番号バッファ13に格納されるファクシミリ送信先の電話番号リストの一例で、同リストには5件のファクシミリ送信先の電話番号が記載されている。電話番号バッファ13は該リストの電話番号を1エントリづつモデム制御部15に転送し、モデム制御部15は該電話番号の相手ファクシミリ装置に接続するようにモデム16を制御する。接続が完了すると、データ変換部・送信部14は、文書バッファ部12からテキストデータを受領してファクシミリデータに変換し、モデム16を経由して送信する。これを電話番号バッファ13に格納された電話番号リストの各ファクシミリ送信先に対して順次繰り返す。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】従来のファクシミリ装置の同報通信では、送信される文書は全く同一であるため、文書の左上等に送信先の宛名（個人名）を記述する場合には、図9に一例を示すように、同報通信する複数の送信先電話番号に対応する全ての宛名を送信文書本文のテキストデータ中に併記する必要がある。従って、これが多い場合には極めて見苦しいものになるし、また、受信側でファクシミリを共有している個人が多い場合には受取人個人の同定が面倒になるといった問題も生じる。さらに、ファクシミリを共有しているグループの中に複数の受取人がいる場合に、まちがって1人の受取人に全部のファクシミリ文書が渡され、他の受取人に渡されない場合がある等の恐れもある。

【0007】本発明の目的は、複数の送信先にファクシミリ文書を送信する場合に、送信先間で共通の内容の本文に各送信先毎に個別な宛名（ヘッダー）を合成したファクシミリ文書を送信することを可能にして、受信側で受取人個人の同定を容易にする同報通信機能付きファクシミリ装置を提供することにある。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の同報通信機能付きファクシミリ装置は、テキストデータを格納する手段と、送信先リストを宛名データと送信先電話番号の対構成で格納する手段と、前記送信先リストの各宛名データと送信先電話番号の対について、順次、宛名データと送信先電話番号とを分離する手段と、前記分離された宛名データを、前記テキストデータの所定位置に順次差し替えて挿入する手段と、前記宛名データの挿入されたテキストデータをファクシミリデータに変換し、前記分離された送信先電話番号宛に順次送信する手段とを有する。

【0009】

【作用】本発明のファクシミリ装置による同報通信では、各送信先ごとに、当該送信先に対応した個別の宛名の記載されたファクシミリ文書が送信される。これにより、受信側でファクシミリ装置を共有している個人が多い場合にも、受取人個人の同定が容易になる。

【0010】

【実施例】図1に、本発明に係わる同報通信機能付きファクシミリ装置の一実施例のブロック図を示す。ここで、1はファクシミリ装置であり、図6に示されているように、通信路3を介してワードプロセッサに接続され、また、通信回線4を介し、交換網経由で他のファクシミリ装置に接続される。11はワードプロセッサとのインタフェース部、12はワードプロセッサで作成されたファクシミリデータの元となるテキストデータを一時格納する文書バッファ部、14は前記テキストデータをイメージ化し、ファクシミリデータに変換して送信するデータ変換・送信部、15は宛先・電話番号バッファ部17から宛名分離部18を通して1エントリづつ電話番号を受領し、該電話番号の相手ファクシミリ装置に接続するようにモデム16を制御するモデム制御部、16はモデム、17はワードプロセッサで作成されたファクシミリ送信先の宛名・電話番号リストを一時格納する宛名・電話番号バッファ部、18は宛名・電話番号バッファ部17から1エントリづつ宛名・電話番号の対を受領して宛名と電話番号を分離し、宛名をヘッダー合成部19へ転送し、電話番号をモデム制御部15へ転送する宛名分離部、19は文書バッファ12中のテキストデータの先頭に宛名分離部18から転送された宛名データを順次差し替えて合成するヘッダー合成部である。

【0011】利用者は同報通信を行う場合、ワーザプロセッサでテキストデータ及びその送信先の宛名・電話番号リストを作成し、通信路3を介してファクシミリ装置1に転送する。インタフェース部11は、ワードプロセッサから転送されるファクシミリ送信文書となるテキストデータを文書バッファ部12に格納し、同じくワードプロセッサから転送されるファクシミリ送信先の宛名・電話番号リストを宛名・電話番号バッファ17に格納する。図2に、宛名・電話番号バッファ部17に格納されるファクシミリ送信先の宛名・電話番号リストの一例を示す。図2において、171はリスト全体の構成であり、172はファクシミリ送信先の宛名データ、173はファクシミリ送信先の電話番号である。172と173の各エントリは対になっており、宛名と電話番号は対応している。図2のリストでは、5エントリのファクシミリ送信先の宛名データと電話番号が記載されている。宛名・電話番号バッファ17は該宛名・電話番号を1エントリづつ宛名分離部18に転送する。

【0012】宛名分離部18は、図3に示すように、宛名・電話番号バッファ部17から1エントリづつ転送さ

れた宛名データと電話番号を分離して、宛名データはヘッダー合成部19へ、電話番号はモデム制御部15へそれぞれ転送する。

【0013】ヘッダー合成部19は、図4に示すように、ファクシミリ送信文書本文となるテキストデータを文書バッファ部12から受領したのち、宛名分離部18から1エントリづつ転送される宛名データを差し替えながら該ファクシミリ送信文書本文の左上等に挿入して合成し、この宛名データの付加されたテキストデータをデータ変換・送信部14へ転送する。

【0014】モデム制御部15は、宛名分離部18から転送された電話番号の相手ファクシミリ装置に接続するようにモデム16を制御する。接続が完了すると、データ変換・送信部14は、ヘッダー合成部19から受領した宛名データの付加されたテキストデータをファクシミリデータに変換し、モデム16を経由して送信する。

【0015】以上の動作を、宛名・電話番号バッファ部17に格納された宛名・電話番号リストの各ファクシミリ送信先に対して順次繰り返す。図2の宛名・電話番号リストの例では、5ヶ所のファクシミリ送信先に対して繰り返されることになる。この時、宛名データ172と電話番号173の対に従って、各送信先ごとに、宛名のみ差し替えられた同一文書が送信される。

【0016】図5に、本発明の同報通信機能付きファクシミリ装置により送信されるファクシミリ文書の一例を示す。140は送信される文書全体の構成であり、141は各送信先に対して共通な本文（共通文書）、142は各送信先ごとに順次差し替えて合成されるヘッダー部である。

【0017】以上、本発明の一実施例について説明したが、図2や図5の送信先リストおよびファクシミリ文書は一例であり、これに限られるものではない。もちろん、宛名を付加する位置も一例であり、これに限られるものでない。

【0018】また、実施例では、本発明に係わるファクシミリ装置をワードプロセッサ等と独立した装置として説明したが、ワードプロセッサ等のオプションとして付加される電子部品カード上にモデムと共に実装する形態をとり得ることは言うまでもない。

【0019】

【発明の効果】本発明の同報通信機能付きファクシミリ装置では、送信先毎に、対応した単一名の宛名を記載したファクシミリ文書を送信することができるため、受信側で一つのファクシミリ装置を共有している個人が多い場合にも、受取人個人の同定が容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の同報通信機能付きファクシミリ装置の一実施例のブロック図である。

【図2】図1の宛名・電話番号バッファ部に格納されるファクシミリ送信先の宛名・電話番号リストの一例を示

す図である。

【図3】図1の宛名分離部の動作フローを示す図である。

【図4】図1のヘッダー合成部の動作フローを示す図である。

【図5】本発明の同報通信機能付きファクシミリ装置により送信されるファクシミリ文書の一例を示す図である。

【図6】ファクシミリ装置とワードプロセッサの接続図である。

【図7】従来の同報通信機能を備えたファクシミリ装置のブロック図である。

【図8】図7のファクシミリ装置で使用されるファクシミリ送信先リストの一例を示す図である。

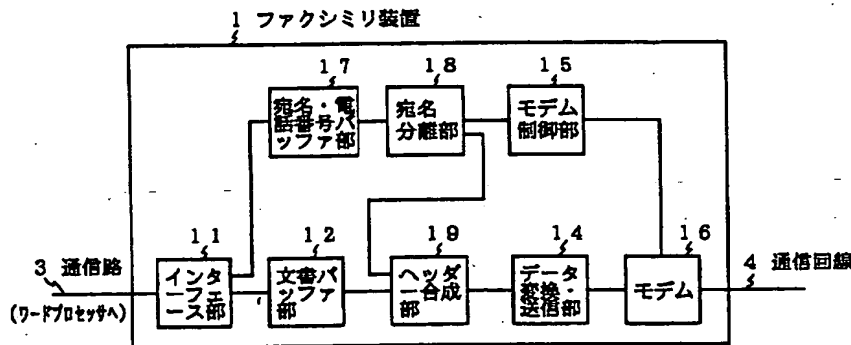
【図9】図7のファクシミリ装置の同報通信により送信

されるファクシミリ文書の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 ファクシミリ装置
- 2 ワードプロセッサ
- 3 通信路
- 4 ファクシミリ送信回線
- 11 インタフェース部
- 12 文書バッファ
- 14 データ変換・送信部
- 15 モデム制御部
- 16 モデム
- 17 宛名・電話番号バッファ部
- 18 宛名分離部
- 19 ヘッダー合成部

【図1】

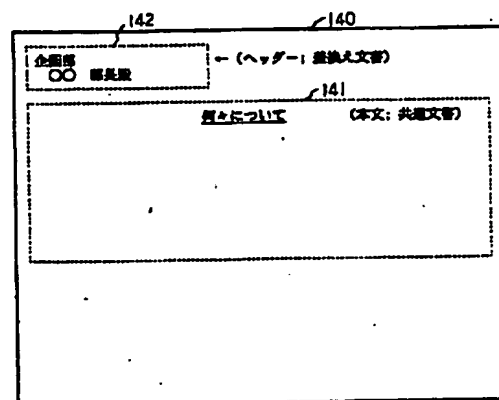


【図2】

172	171	173
企業部 〇〇 部長殿	03-5555-1111	
企画部 △△ 部長殿	03-5555-1111	
総務部 □□ 部長殿	03-5555-1112	
技術部 〇〇 部長殿	03-5555-1113	
営業部 ☆☆ 部長殿	03-5555-1114	

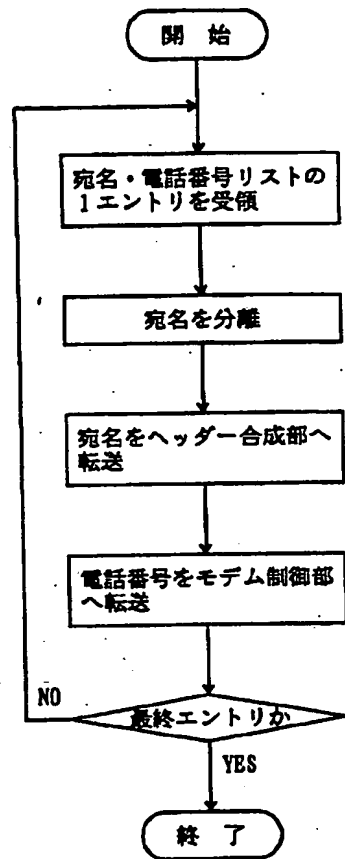
宛名・電話番号リスト

【図5】



ファクシミリ文書

【図3】



宛名分離部の動作フロー図

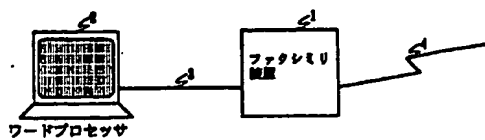
【図8】

181

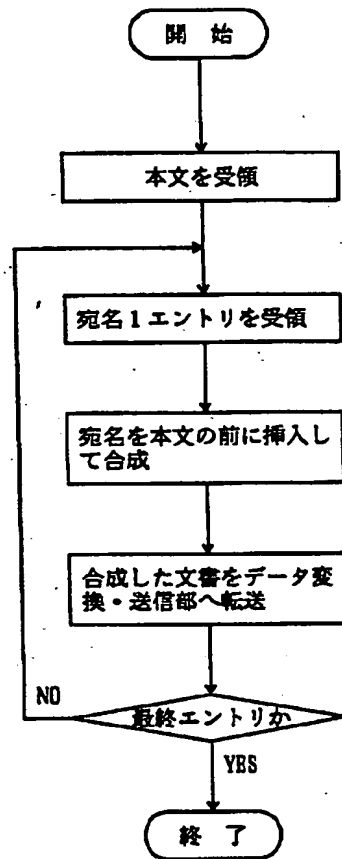
03-3555-1111
03-3555-1112
03-3555-1113
03-3555-1114
03-3555-1115

電話番号リスト

【図6】



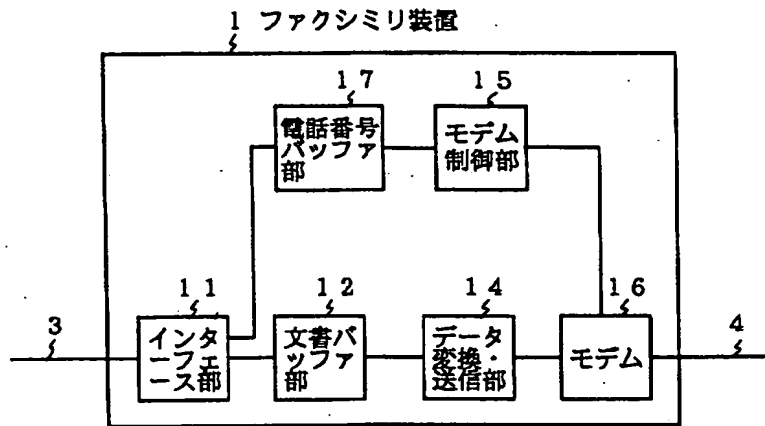
【図4】



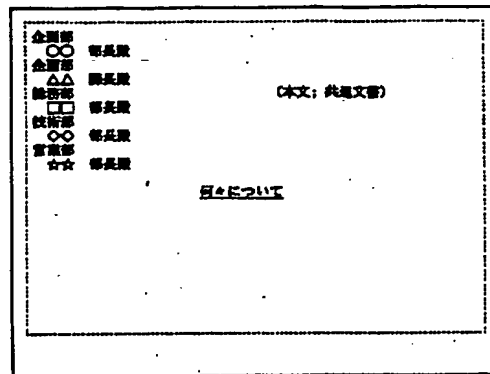
ヘッダー合成部の動作フロー図



【図7】



【図9】



ファクシミリ文書